



FARONICS
DEEPPFREEZEMAC™

クライアントの完全な整合性

ユーザーガイド



FARONICS™
Intelligent Solutions for ABSOLUTE Control

www.faronics.com

このページは空白です。

Deep Freeze Mac のセキュリティに関するご注意

Apple 社が提供する *Open Firmware Password* アプリケーションを使用して、コンピュータの正常な起動に影響を与えるキーボード入力を無効化することができます。これにより、起動時にユーザーがシングルユーザーモードに入る、または他のボリュームから起動するためのキー入力ができなくなります。Open Firmware Password アプリケーションをダウンロードするには、以下の Apple 社のサイトで指示に従ってください。

<http://www.apple.com/support/downloads/openfirmwarepassword.html>

Mac OS X 10.4 以上では、ソフトウェアのインストールディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」からこのアプリケーションのアップデート版をコピーできます。

Intel ベースの Macintosh コンピュータはファームウェアのパスワードでも保護できます。Intel ベースコンピュータのファームウェアは拡張ファームウェア インタフェース (EFI) を使用しています。PowerPC プロセッサを使用するコンピュータではオープンファームウェアが使用されています。

テクニカル サポート

使いやすく、問題のないソフトウェアを設計するためにあらゆる努力を重ねています。問題が発生した場合は、テクニカル サポートまでご連絡下さい。

Eメール: support@faronics.com
電話: 800-943-6422 または 604-637-3333
営業時間: 07:00 時から午後 5:00 時 (太平洋標準時刻)

お問い合わせ

Web: www.faronics.com
Eメール: sales@faronics.com
電話: 800-943-6422 または 604-637-3333
ファックス: 800-943-6488 または 604-637-8188
営業時間 07:00:00 時から午後 5 時 (太平洋標準時刻)
Address: USA
 2411 Old Crow Canyon Road, Suite 170
 San Ramon, CA 94583
 USA
Canada
 609 Granville Street, Suite 620
 Vancouver, BC V7Y 1G5
 Canada
Europe
 Siena Court, The Broadway
 Maidenhead, Berkshire
 SL6 1NJ UK
 Email: eurosales@faronics.com
 Phone: +44-1628-509008
 Fax: +44-1628-509118

最終更新日:2010年1月

© 2010 Faronics Corporation. All rights reserved. Deep Freeze および Faronics, Faronics Anti-Executable, Faronics Power Save, Faronics System Profiler, WINSelect は Faronics Corporation の商標および/または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。

このページは空白です。

目次

Deep Freeze Mac 概要	7
Deep Freeze について.....	7
Apple Remote Desktop (ARD) について.....	7
コマンドライン コントロール機能.....	7
システム要件.....	7
重要な用語.....	7
Faronics について.....	7
Deep Freeze のインストール	8
Deep Freeze カスタムインストーラを使用したインストール.....	8
Deep Freeze 基本インストーラを使用したインストール.....	8
Apple Remote Desktop からのインストール.....	8
旧バージョンがある場合のインストール.....	8
Deep Freeze Mac での Xgrid の使用.....	8
[Deep Freeze Controller] の使用	9
[Deep Freeze Controller] を開く.....	9
第 1 のユーザーの作成.....	9
インストール後のライセンスキーの更新.....	10
[Boot Control (ブート コントロール)] タブ.....	11
[Drives (ドライブ)] タブ.....	12
ThawSpace (非保護スペース) タブ.....	13
グローバル ThawSpace の追加.....	13
ユーザー ThawSpace の追加.....	14
ユーザーまThawSpace の削除.....	14
ThawSpace のサイズ変更.....	15
ThawSpace サイズ変更の限界.....	16
[Maintenance (メンテナンス)] タブ.....	16
[Mapping (マッピング)] タブ.....	18
[DF Users (DF ユーザー)] タブ.....	19
DF ユーザーの追加、削除、編集.....	19
[Uninstall (アンインストール)] タブ.....	20
設定のエクスポートおよびインポート.....	20
Deep Freeze の使用	21
Deep Freeze のアイコン.....	21
ドキュメントの保存.....	21
ソフトウェアインストールおよび恒久的な変更.....	21
Deep Freeze 更新のチェック.....	21
付録 I: Deep Freeze Assistant およびインストーラのカスタマイズ	22
付録 II: Apple Remote Desktop v.3.0 統合	29
ターゲット コンピュータの [Task (タスク)] リストへの追加.....	33
タスクの使用および編集.....	33
コマンドライン スクリプトの例.....	34
Deep Freeze Legacyフォルダ内のコマンドは.....	34

このページは空白です。

Deep Freeze Mac 概要

Deep Freeze について

Deep Freeze Mac は、制約のない完璧な作業環境を提供します。システムの損傷や破損を心配する必要がなく、再起動するだけですべての変更を消し去り、標準のシステム設定をいつでも利用できるようにします。ソフトウェアのインストールや削除、アプリケーションの環境設定など、コンピュータへの変更はすべて、その作業セッションで使用するための一時的なものです。IT 担当者がシステムの再構築や再イメージ化、トラブルシューティングを行う必要がなくなるため、IT 関連の支出を削減、コンピュータのアップタイムを向上できます。

Apple Remote Desktop (ARD) について

Apple Remote Desktop は、アップルコンピュータ社の Mac OS X 用デスクトップに対する完全なデスクトップ管理ソリューションです。Faronics は Apple Remote Desktop の販売およびテクニカル サポート情報の提供は行っていません。ARD に関する詳細は、<http://www.apple.com/remotedesktop> を参照してください。

コマンドラインコントロール機能

付録 II で ARD との併用について説明しているタスクは、他のサードパーティのコマンドラインコントロールプログラムでも使用できます。

システム要件

Deep Freeze Mac には、Mac OS X Tiger v10.4.11、Leopard v10.5.1以降、または Snow Leopard v10.6.0以降が必要です。

Deep Freeze Mac はユニバーサルアプリケーションで、Intel および PPC に対応しています。

ARD 統合には Apple Remote Desktop version 2.2 以上が必要です。

推奨される最小 RAM は 256 MB です。

重要な用語

「保護モード」のボリュームまたはパーティションは、コンピュータが再起動される度に、元の設定および内容に完全に復元されます。

Deep Freeze がインストールされていない場合、「非保護モード」のボリュームパーティションは正常に機能します。

Faronics について

Faronics は、マルチユーザー環境にあるコンピュータの保護、および管理用ソリューションを目的とした高機能ユーティリティ・ソフトの開発・販売を行う企業です。Faronics の市場をリードするソリューションは、システムの可用性を 100 パーセント確保することで、多くの情報技術専門家やコンピュータ室管理者の日常業務を劇的に改善してきました。学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業で Faronics のユーザーを主導としたパワフルなテクノロジー改革を有効に御使用頂いています。1996年に設立された Faronics は、現在米国とカナダの2カ所にオフィスがあります。積極的な成長戦略と世界的展望を持つ Faronics は、さらなる新規市場の開拓を目指しています。多様なユーティリティソフトにより、Faronics はこれからも革新的でユニークなソリューションをご提供し、ユーザーの生産性向上に貢献して参ります。

Deep Freeze のインストール

Deep Freeze Mac のインストールと設定には管理者権限が必要です。

Deep Freeze Mac は、メディアパッケージの CD-ROM またはインターネットのダウンロードで入手可能です。

Deep Freeze カスタムインストーラを使用したインストール

[Deep Freeze Assistant] を使用して、最高 4 つのユーザー名とパスワード、そして環境固有のアプリケーション設定が事前設定された Deep Freeze カスタムインストーラを作成できます。詳細は付録 I を参照してください。

Deep Freeze 基本インストーラを使用したインストール

Deep Freeze を 1 台のコンピュータにインストールするには、以下のステップを実行します。

1. 「DFX Version.pkg」をダブルクリックして、インストール処理を開始します。(設定によっては、ファイルの拡張子は表示されません)。インストーラが開きます。[次へ]をクリックします。
2. 「セキュリティに関するご注意」を読み、[次へ]をクリックします。
3. ライセンスキーを入力します。ライセンスキーを入力しないと、Deep Freeze は 30 日後に有効期限が切れます。
4. [インストール]をクリックすると、Deep Freeze がコンピュータにインストールされます。
5. [再起動]をクリックして、コンピュータを再起動します。

インストールが正常に完了し、コンピュータが再起動されると、([Deep Freeze Assistant] で設定された場合を除き) Deep Freeze は自動的にすべてのドライブおよびパーティションを保護モードにするよう設定されています。非保護モードにするドライブおよびボリュームは、インストール後に [Deep Freeze Controller] で指定し、再起動できます。

Apple Remote Desktop からのインストール

Deep Freeze は一般的なインストールパッケージファイルとして配布されており、Apple Remote Desktop の [パッケージをインストール] コマンドにより、ネットワークからインストールできます。詳細は Apple Remote Desktop ユーザーガイドを参照してください。Apple Remote Desktop を使用した Deep Freeze のネットワーク経由の操作の詳細は、付録 II を参照してください。

旧バージョンがある場合のインストール

旧バージョンの Deep Freeze Mac は、新規バージョンのインストール前にアンインストールしておくことを推奨します。



保護モードに設定している場合は、Deep Freeze Mac をターゲット ディスク モードで起動しないでください。キャッシュ ファイルが無効になり、プログラムが破損します。ターゲット ディスク モードで起動する場合には、コンピュータが非保護状態であることを確認してください。

Deep Freeze Mac での Xgrid の使用

Xgrid が保護モードの Macintosh で正常に動作するには、Xgrid フォルダが非保護パーティションにシンボリックリンクされている必要があります。コンピュータが非保護モードに設定されている場合、`/private/var/xgrid` フォルダは非保護モードの場所 (グローバル非保護スペースか非保護パーティションのいずれか) にマッピングされた上で、元の場所にシンボリックリンクされる必要があります。

ターミナルを使用して次の作業を行います。

- 「任意の非保護モードの場所」(別のパーティションまたはグローバル非保護スペース) で `sudo cp -R /private/var/xgrid` を実行します
- `sudo rm -R /private/var/xgrid` を実行します
- `sudo ln -s 「任意の非保護モードの場所」/xgrid /private/var/xgrid` を実行します

[Deep Freeze Controller] の使用

コンピュータのすべてのドライブおよびパーティションが保護モードである場合も、ファイルの作成、保存、変更、削除は可能です。ただし、非保護スペースまたは非保護パーティションが使用されている場合を除き、すべての変更は一時的なものとなります。再起動時には、保護ドライブまたはボリュームの完全な内容が復元されます。



[Deep Freeze Controller] に対するすべての変更は、再起動後に反映されます。

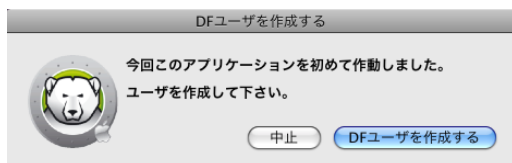
[Deep Freeze Controller] を開く

次の3つオプションのいずれかを使用して [Deep Freeze Controller] を開きます。

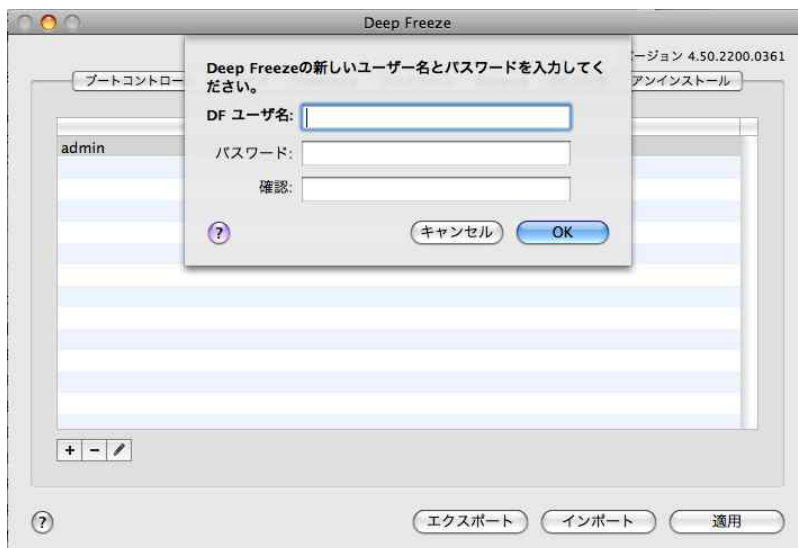
- [Applications (アプリケーション)] > [Faronics] > [DFXControl.app] に移動し、ダブルクリックします。
- [Ctrl] キーと [Opt] キー、[Shift] キー、[F6] キーを同時に押します。
- メニューバーの Deep Freeze アイコンをクリックし、[Logoin (ログイン)] を選択します。

第1のユーザーの作成

1. [Deep Freeze Assistant] を使用して Deep Freeze ユーザー (DF ユーザー) が作成されていない場合は、初めて [Deep Freeze Controller] を起動したときに DF ユーザーは存在しません。図のような、ユーザー作成を促すメッセージが表示されます。



2. [Create DF User (DF ユーザーの作成)] をクリックします。次のダイアログが表示されます。



3. ユーザー名およびパスワードを入力し、パスワードを再入力して確認します。

注意: Apple Remote Desktop (ARD) を使用して Deep Freeze Mac の配備を管理する場合、パスワードに英数字のみを使用していることを確認してください。英数字以外の文字が使用されている場合、リモート タスクの実行に失敗します。

4. [OK] をクリックして、第 1 ユーザーの作成を終了します。
5. [Deep Freeze Controller] 画面が表示され、そこには 7 つのタブ ([Boot Control (ブート コントロール)], [Drives (ドライブ)], [ThawSpace (非保護スペース)], [Maintenance (メンテナンス)], [Mapping (マッピング)], [DF Users (DF ユーザー)], [Uninstall (アンインストール)]) があります。



[Deep Freeze Controller] を再び開くと、次のようなログイン ウィンドウが表示されます。



有効な DF ユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

[Deep Freeze Controller] は [Boot Control (ブート コントロール)] タブがアクティブな状態で表示されます。

インストール後のライセンスキーの更新

ライセンスキーを更新するには、以下のステップを実行します。

1. DFX Control (DFXコントロール)メニューを開きます。
2. ライセンスキーの入力)を選択します。[ライセンスキー]ダイアログが開きます。
3. ライセンスキーを入力して、[OK]をクリックします。

[Boot Control (ブートコントロール)] タブ

[Boot Control (ブート コントロール)] タブを使用して、Deep Freeze のコンピュータ上のステータスを変更します。



3つのラジオボタンを使用して Deep Freeze の状態を変更します。

- コンピュータを保護状態にするには、[Boot Frozen (保護モードで起動)] を選択します。
- 指定した回数だけ非保護状態で再起動するには、[Boot Thawed on Next (非保護モードで起動次回のみ)] を選択し、再起動の回数を指定します (1 から 99 の入力有効です)。
- コンピュータを非保護状態にするには、[Boot Thawed (非保護モードで起動)] を選択します。

変更の後でコンピュータを再起動する場合は、[Restart (再起動)] をクリックします。

以下の設定オプションがあります。

- 保護アイコンを非表示にするには、[Hide Frozen Icon in menu bar (メニューバーの保護アイコン非表示)] チェックボックスをオンにします。
- 非保護アイコンを非表示にするには、[Hide Thawed Icon in menu bar (メニューバーの非保護アイコン非表示)] チェックボックスをオンにします。
- Deep Freeze アイコンを表示せずに保護パーティションのみを表示させるには、[Don't badge Frozen partitions (保護パーティションは除外する)] チェックボックスを選択します。
- ユーザーのログアウト時に再起動するようにワークステーションを設定するには、[Restart instead of Log Out (ログアウトではなく再起動)] チェックボックスを選択します。
- Apple Remote Desktop でリモート操作を使用してワークステーション ステータス (Frozen または Thawed) を表示するために、Apple Remote Desktop のチェックボックスで [ステータスを表示] を選択し、希望する [情報フィールド] を選択します。

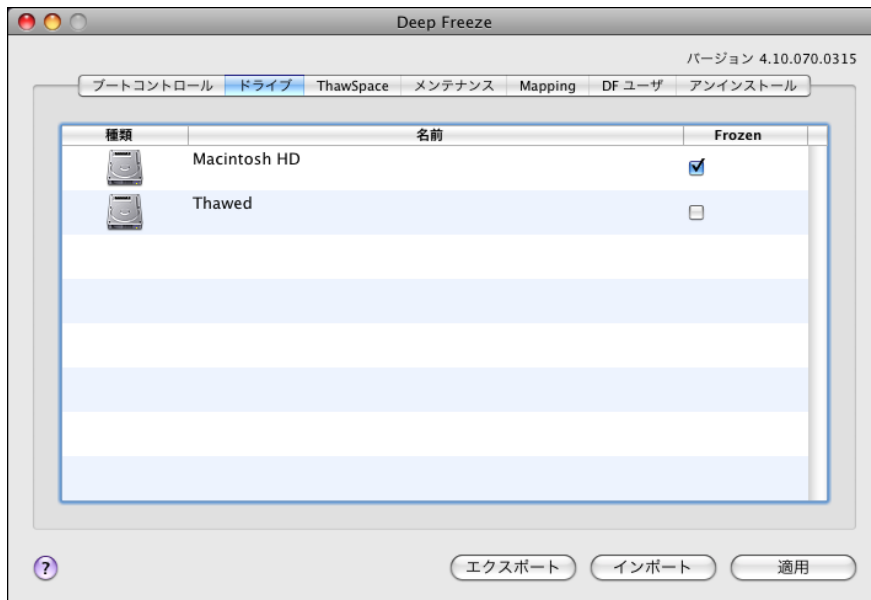
ワークステーションは、Frozen または Thawed をブート時に選択された [情報フィールド] に書き込みます。

Apple Remote Desktop でこのステータス情報を表示するためには、[編集] > [表示オプション] を選択し、適切なコンピュータ情報フィールド (1-4) を選択します。ワークステーションが現在のステータスを表示し、ワークステーション グループは、このステータス コラムでソートすることができます。

[Apply (適用)] をクリックすると変更が保存され、再起動後に有効になります。

[Drives (ドライブ)] タブ

[Drives (ドライブ)] タブを選択すると、コンピュータ上に存在するドライブがリスト表示されます。表示されたドライブは、保護モードまたは非保護モードにすることができます。



コンピュータ上のすべてのドライブは、[Deep Freeze Assistant]で特に指定した場合を除き、初期設定で保護モードとなっています (詳細は付録 I を参照してください)。パーティションを作成してユーザーデータを保存し、そのパーティションを Assistant で非保護パーティションとして指定しなかった場合、[Frozen (保護)] カラムで対応するチェックボックスの選択を解除してそのパーティションを非保護状態にします。

[Apply (適用)] をクリックすると変更が保存され、再起動後に有効になります。



FireWire または USB 接続の外部ハードドライブやキーチェーンドライブなどのリムーバブルメディアは表示されず、保護モードにはできません。

ThawSpace (非保護スペース) タブ

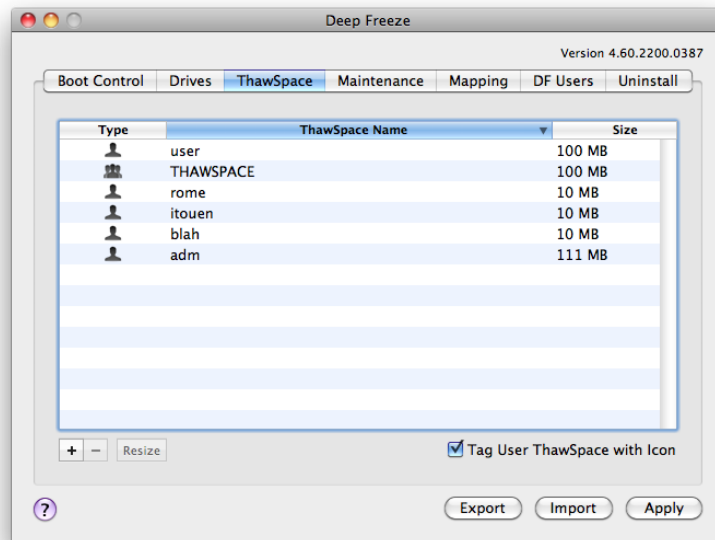
[ThawSpace (非保護スペース) タブ] を使用して、仮想 Thawed パーティションを作成します。その場合、ドキュメントと変更は Frozen モードのコンピュータで継続的に保持されます。管理者は各ユーザーにユーザー ThawSpace、またはすべてのユーザーが共有可能なグローバル ThawSpace を作成できます。[ThawSpace (非保護スペース) タブ] は、ThawSpace のユーザーのみに表示されます。

グローバルおよびユーザー ThawSpace は、[Type (タイプ)] カラムに表示されたアイコンで簡単に識別できます。アイコンはグローバル ThawSpace を、アイコンはユーザー ThawSpace を表します。

ThawSpace は [Add (追加)] および [Delete (削除)] ボタンにより、タブ内で追加または削除できます。ThawSpace の単位は MB または GB で、1 MB から 120 GB の範囲で設定できます。

ThawSpace を作成または修正するには、コンピュータは Thawed 状態でなければなりません。[Deep Freeze Assistant] を使用して ThawSpace を設定した場合、ThawSpace が作成中であることを示すダイアログが (プログレスバーとともに) 表示されます。グローバル ThawSpace とユーザー ThawSpace は、リムーバブル メディアとしてデスクトップに表示されます。他のユーザーの ThawSpace は、フォルダとして表示されますがアクセスは制限されます。

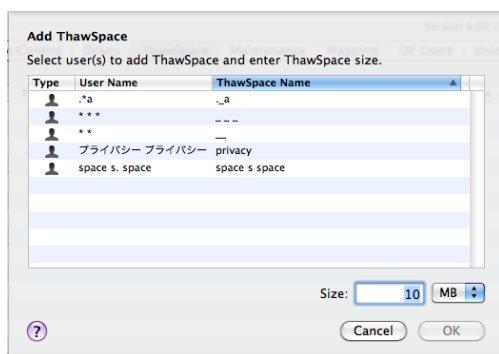
各コンピュータに、最大 1 つのグローバル ThawSpace と 32 のユーザー ThawSpace が作成できます。ユーザー ThawSpace はマッピング目的で表示されます。ThawSpace はデスクトップにリムーバブル メディアとして表示されます。ユーザー ThawSpace にユーザーが選択したアイコンを付けるには、[ユーザー ThawSpace にアイコンを付ける] チェックボックスを選択します。



グローバル ThawSpace の追加

グローバル ThawSpace を作成するには、以下のステップを実行します。

1. [Add (追加)] をクリックすると、次のダイアログと ThawSpace のないユーザーのリストが表示されます。



- 表示されたダイアログで、ユーザー名のリストから [Global ThawSpace (グローバル非保護スペース)] を選択します。
- [Size (サイズ)] フィールドに ThawSpace のサイズを入力し、ドロップダウン メニューで MB または GB のいずれかの単位を選択します。グローバル ThawSpace の初期設定サイズは 1 GB です。
- [Add (追加)] をクリックするか、[Cancel (キャンセル)] をクリックして ThawSpace を追加せずにタブに戻ります。
- [ThawSpace (非保護スペース)] タブで [Apply (適用)] をクリックして、新しい ThawSpace を作成します。管理用のユーザー名とパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。

ユーザー ThawSpace の追加

特定のユーザー向けの ThawSpace をドライブに作成するには、以下のステップを実行します。

- [追加] をクリックします。
- 表示されたダイアログで、ThawSpace の作成対象のユーザーを選択します。
- [Size (サイズ)] フィールドに ThawSpace のサイズを入力し、ドロップダウン メニューで MB または GB のいずれかの単位を選択します。ユーザー ThawSpace の初期設定サイズは 10 GB です。
- [Add (追加)] をクリックするか、[Cancel (キャンセル)] をクリックして ThawSpace を追加せずにタブに戻ります。
- [ThawSpace (非保護スペース)] タブで [Apply (適用)] をクリックして、新しい ThawSpace を作成します。管理用のユーザー名とパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。



グローバル ThawSpace にはすべてのユーザーがアクセスできますが、ユーザー ThawSpace には特定のユーザーしかアクセスできません。Mac OS X 10.4 の場合、他のユーザーの ThawSpace はデスクトップに表示されません。Mac OS X 10.5 および 10.6 の場合、ログインすると他のユーザーの ThawSpace がフォルダとしてデスクトップに表示されますが、アクセスは制限されます。



既存の ThawSpace を削除して、その内容を保持することはできません。ユーザーがマッピングされている ThawSpace を削除すると、そのユーザーはコンピュータにログインできなくなります。ThawSpace を削除する前に、ユーザーを別の場所にマッピングしておくことを推奨します。

ユーザーまたはグローバル ThawSpace の削除

ユーザーまたはグローバル ThawSpace を削除するには、以下のステップを実行します。

- 削除する ThawSpace を選択して [Delete (削除)] をクリックします。削除を確認するダイアログが表示されます。

2. [Delete (削除)] をクリックすると ThawSpace が完全に削除され、[Cancel (キャンセル)] をクリックすると ThawSpace が保持された状態のタブに戻ります。
3. [Apply (適用)] をクリックします。管理用のユーザー名とパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。変更は再起動後に有効になります。

あるいは、Deep Freeze Mac をアンインストールして、ThawSpace を削除することもできます。



ThawSpace 仮想ドライブをアンマウントすると、ログアウト/ログイン時または再起動時に復元されます。Frozen モードのワークステーションでは、ThawSpace は物理的に削除されても再起動時に復元されますが、その内容は削除されます。

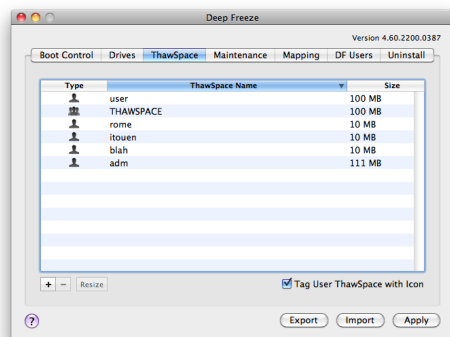


ThawSpace を削除する前にそのプロフィールとフォルダ マッピングを削除してください。

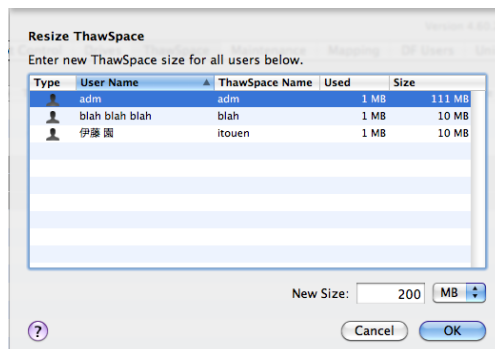
ThawSpace のサイズ変更

ThawSpace が作成されると、それを拡大/縮小してサイズを変更することができます。ThawSpace のサイズを変更するには、次の手順を実行します。

1. [ThawSpace (非保護スペース)] をクリックします。[ThawSpace (非保護スペース)] (複数可) を選択して [Resize (サイズ変更)] をクリックします。



2. 次のダイアログが表示されます。



3. [Size (サイズ)] フィールドに ThawSpace のサイズを入力し、ドロップダウンメニューで MB または GB のいずれかの単位を選択します。初期設定サイズはユーザー ThawSpace、グローバル ThawSpace とも 10 MB です。
4. [OK] をクリックするとサイズが変更され、[Cancel (キャンセル)] をクリックするとサイズが変更されずにタブに戻ります。
5. [ThawSpace (非保護スペース)] タブで [Apply (適用)] をクリックすると、ThawSpace のサイズが変更されます。管理用のユーザー名とパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。変更は再起動後に有効になります。



ThawSpace のサイズ変更は、Mac OS X 10.6 以降のみでサポートされています。サイズ変更は再起動後に有効になります。

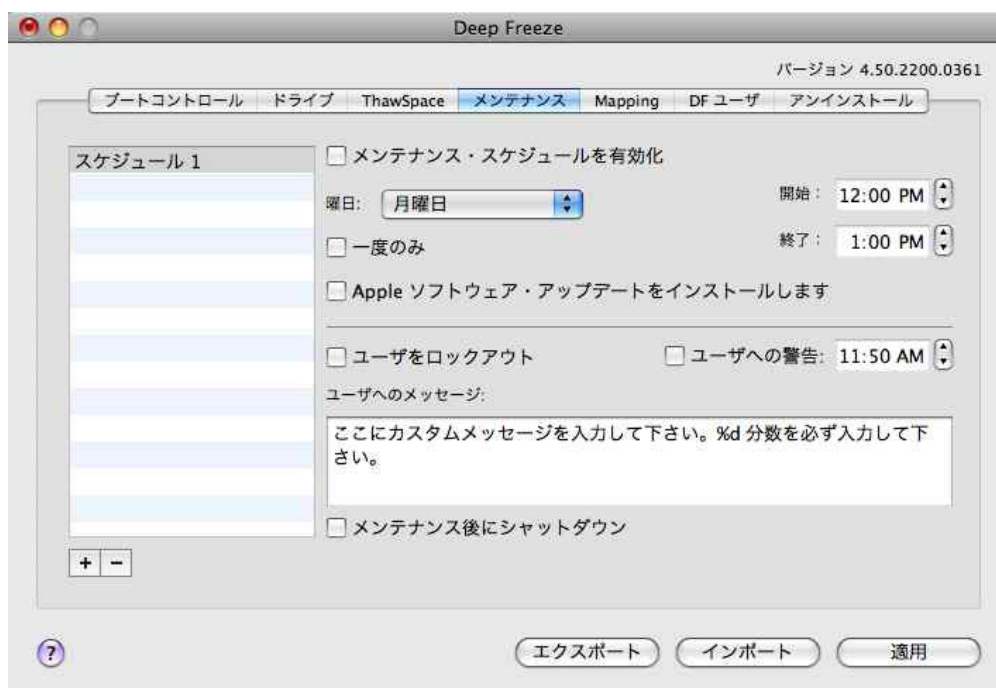
ThawSpace サイズ変更の限界

ThawSpace の最小サイズは実際に使われているデータ スペースまたは 1 MB のいずれか大きい方で、最大サイズは実際のパーティション サイズまたは 120 GB のいずれか小さい方となります。ThawSpace サイズの拡大に限界はありませんが、縮小は状況によって不可能な場合があります。

たとえば、10 MB の ThawSpace の場合、データが ThawSpace 全体に保存されていたとしても、サイズを 20 MB に拡大することができます。しかしながら、10 MB の ThawSpace をそれ以下に縮小する場合、データが書き込まれている場所によってサイズ変更ができない場合があります。データが 10 MB のスペース以外にも配分されている場合、サイズ変更はできません。ただし、データがその ThawSpace の最初のみ書き込まれている場合は、空き領域の始まる部分から ThawSpace の限界までサイズを変更することができます。

[Maintenance (メンテナンス)] タブ

メンテナンス期間のスケジュール設定を実行するには、[Maintenance (メンテナンス)] タブを使用します。メンテナンス期間には、コンピュータが自動的に非保護モードになり、Apple Software Update を恒久的に適用できるようになります。



複数のメンテナンス スケジュールの作成および命名

それぞれ異なる名前を持つ複数のメンテナンス スケジュールを作成するには、以下のステップを実行します。

1. [Maintenance (メンテナンス)] タブで [Add (追加)] をクリックします。
初期設定の [Schedule 1 (スケジュール 1)] タグが、タブの左側のリストに表示されます。スケジュールを追加すると、必ずこの初期設定タグが付けられますが、名前は変更可能です。
2. スケジュールの名前を変更するには、名前を変更するタグをダブルクリックします。
フィールドが編集可能になります。
3. 新しいスケジュール名を入力します。
注意: 最大 10 個の名前の異なるメンテナンス スケジュールを作成できます。

メンテナンススケジュールの設定および編集

スケジュールを設定するには、設定対象のスケジュールの名前をクリックします。

次からオプションを選択し、メンテナンス スケジュールを設定します。

- メンテナンス期間をオンにするには、[Activate Maintenance Schedule (メンテナンス スケジュールを有効にする)] オプションをクリックします。
- [Day (曜日)] ドロップダウン メニューから、スケジュールが発生する曜日を選択します。
- [From (開始時間)] および [To (終了時間)] フィールドに、メンテナンスが発生する時間帯を入力します。
- [Once Only (一度限り)] チェックボックスを選択して、一度限りのスケジュールを作成します。このチェックボックスを選択しなければ、スケジュールは毎週繰り返されます。
- [Install Apple Software Updates (Apple Software Update をインストール)] を選択して、使用可能なすべての Apple Software Update をインストールします。
- [Lock Out User (ユーザーをロックアウト)] を選択して、メンテナンス期間中はユーザーがコンピュータにアクセスできないようにします。
- [Warn User At (ユーザーに警告)] を選択すると、コンピュータが指定された時間に使用できなくなることを警告するメッセージが表示されます。指定のフィールドに警告時間を入力します。
- [Message for User (ユーザーへのメッセージ)] ボックスに、メンテナンス スケジュールが指定された時間に発生する旨を説明する、ユーザーへのカスタム メッセージを入力します。変数として「%d」をメッセージに挿入すると、メンテナンス期間開始までの分数が自動的に表示されます。(「%d」は現在の時間とスケジュールされたメンテナンスの開始時間との時間差に対応する変数です。)
- [Shutdown After Maintenance (メンテナンス後にシャットダウン)] を選択すると、メンテナンス期間終了後にコンピュータがシャットダウンされます。

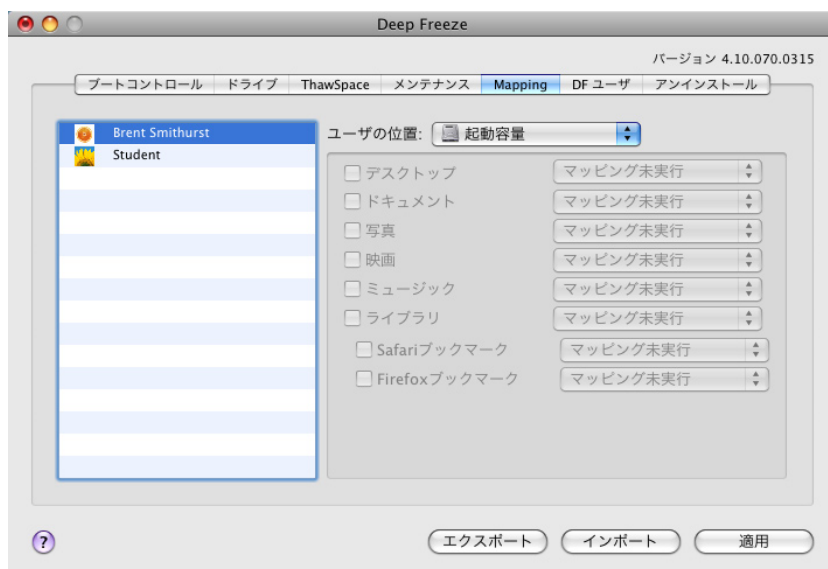


メンテナンス期間は最短で 10 分となっています。

[Apply (適用)] をクリックすると変更が保存され、再起動後に有効になります。

[Mapping (マッピング)] タブ

[Mapping (マッピング)] タブを使用して、特定の非保護スペースまたはパーティションにユーザー プロフィールをマッピングするか、ユーザー プロフィールの要素を特定の非保護スペースまたはパーティションにマッピングします。注意: この機能は管理者レベルでのみ使用可能です。現在ログインしているユーザーはマッピングできません。変更を有効にするにはコンピュータを再起動する必要があります。



ユーザー プロフィールをターゲットにマッピングするには、ユーザーのアカウントを選択し、[User Location (ユーザーの場所)] で [Boot Volume (起動ボリューム)], [User ThawSpace (ユーザー非保護スペース)], [Partition (パーティション)], [Custom (カスタム)] の中から利用可能なオプションを1つ選択します。

起動ボリューム	ユーザー アカウントをオペレーティング システムの起動元にマッピングします。
ユーザー非保護スペース	ユーザー アカウントを、このユーザー向けに作成された対応するユーザー非保護スペースにマッピングします。ユーザー非保護スペースの名前は変更しないようにしてください。名前を変更すると、元のユーザー アカウントからアクセスできなくなります。
パーティション	ユーザー アカウントを [Drives (ドライブ)] タブにリストされている特定のパーティションにマッピングできます。
カスタム	ユーザー アカウントの特定の要素 (画像や動画、音楽など) をユーザー非保護スペースやパーティションにマッピングできます。まず、要素をクリックして、マッピング先となる非保護スペースまたはパーティションを選択します。カスタムでマッピングされたユーザーは起動ボリュームに置かれている必要があります。ユーザーをユーザー非保護スペースまたはその他のボリュームに完全にマッピングしてから、その一部を他の場所にカスタムでマッピングすることはできません。ブックマークについては、マッピング先の場所が必要です。たとえば、ユーザーが Safari を実行したことがない場合、Safari をマッピングすることはできません。Deep Freeze ではユーザーのフォルダおよびブックマークは作成されません。



スペースが不足している場所にマッピングを試行した場合、マッピングは実行されません。



マッピングが機能するためには、ショートネームは、[システム環境設定]>> [アカウント]> [アカウント名]> [アドバンスドオプション]のホームディレクトリー名と一致する必要があります。

[DF Users (DF ユーザー)] タブ

管理者は [DF Users (DF ユーザー)] タブでコンピュータ上のユーザーを管理できます。各コンピュータでは最大 4 人のユーザーが許容されていますが、第 1 ユーザー (管理ユーザー) のみが他の DF ユーザーを作成および編集、削除できます。



DF ユーザーの追加、削除、編集

新しいユーザーを追加するには、以下の作業を行なって下さい。

1. [Add (追加)] をクリックします。下のプロパティダイアログが表示されます。

2. [DF User Name (DF ユーザー名)] と [Password (パスワード)] を入力し、パスワードを再入力して確認します。

注意: Apple Remote Desktop (ARD) を使用して Deep Freeze Mac の配備を管理する場合、パスワードに英数字のみを使用していることを確認してください。英数字以外の文字が使用されている場合、リモート タスクの実行に失敗します。

3. ユーザー プロフィールへの変更を保存するには [OK] をクリックし、保存せずに中止するには [Cancel (キャンセル)] をクリックします。

DF ユーザーを削除するには、[Delete (削除)] をクリックします。削除を確認するダイアログが表示されます。中止する場合は [Cancel (キャンセル)] をクリックし、DF ユーザーの削除を確定するには [Delete (削除)] をクリックします。少なくとも 1 人の DF ユーザーが常に存在している必要があります。最初に作成した第 1 の DF ユーザーは削除できません。

DF ユーザーのプロパティを編集するには、[Edit (編集)] をクリックします。必要に応じて、プロパティダイアログでユーザー名とパスワードを編集します。

[Uninstall (アンインストール)] タブ

[Uninstall (アンインストール)] オプションを使用するには、コンピュータが非保護モードである必要があります。コンピュータが保護モードの場合、[Uninstall (アンインストール)] オプションは使用できません。

コンピュータにすでに非保護スペースがある場合には、希望するボタンを選択して非保護スペースの保持または削除を選択します。

非保護スペースを保持するオプションを選択すると、既存のすべての非保護スペースは起動ボリューム (/Volumes/username.dmg) に移動します。非保護スペースはアイコンをダブルクリックして手動でマウントする必要があります。

Deep Freeze をアンインストールするには、[Uninstall (アンインストール)] をクリックします。



コンピュータが再起動し、Deep Freeze はアンインストールされます。



Deep Freeze のアンインストール時に、プログラムのすべてのコンポーネントは永久に削除されます。

設定のエクスポートおよびインポート

Deep Freeze Controller の設定情報を記録したファイルを、プロパティリストファイルとしてエクスポートできます。このプロパティリストは他の [Deep Freeze Controller] にインポートし、対象のコンピュータに割り当てることができます。

[Deep Freeze Controller] の設定セットをエクスポートするには、[Export (エクスポート)] をクリックし、任意の場所にファイルを保存します。

設定ファイルをインポートするには、[Import (インポート)] をクリックし、保存されたファイルの場所を指定します。ファイルのインポートによる変更を反映するには、コンピュータの再起動が必要です。

注意: ドライブおよび非保護スペース、マッピング ページは他のコンピュータには関連してないので、エクスポートまたはインポートされません。


Deep Freeze の使用


Deep Freeze のインストールが終了し、パーティションに設定が適用された後は、コンピュータを通常通り使用できます。Deep Freeze がコンピュータにインストールされていることを表すのは、メニューバーに表示される Deep Freeze アイコン (設定による) または保護モードのボリュームに表示される Deep Freeze アイコンバッジ (設定による)、設定されたグローバルまたはユーザー保護スペースのみです。

ファイルおよびフォルダの名前変更や削除、インターネットからのファイルのダウンロード、デスクトップの変更など、コンピュータへの変更も実施できます。しかし、保護モードのボリュームは、再起動時に元の設定および内容が復元されます。

Deep Freeze のアイコン

アイコンを表示するように設定してあれば、Deep Freeze のインストール後、メニューバーにポーラベア (白くま) のアイコンが表示されます。

保護モードアイコン  は、現在コンピュータが保護モードであることを示します。

非保護モードアイコン  は、現在コンピュータが非保護モードであることを示します。

ドキュメントの保存

保護モードのコンピュータで、非保護ボリューム、グローバルまたはユーザー非保護スペース、ネットワーク上、CD、USB ドライブ、Fire Wire ハードドライブに、ドキュメントを保存することができます。

ソフトウェアインストールおよび恒久的な変更

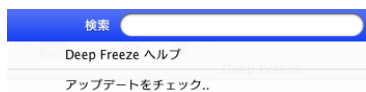
恒久的な変更およびソフトウェア インストールは、非保護コンピュータまたは非保護ボリューム、コンピュータの非保護スペースでのみ実行できます。コンピュータが保護モードのときにインストールされたソフトウェアは、再起動で消えてしまいます。

環境設定ファイルの作成、ユーザー登録ダイアログの表示解除、様々な値の初期化のために、新しくインストールされたアプリケーションを非保護モードのコンピュータまたはボリュームで少なくとも 1 度は起動する必要があります。

新しくインストールされたアプリケーションのセットアップを完了するために、コンピュータの再起動が必要になる場合があります。この場合、コンピュータを非保護状態で再起動してから同じユーザー アカウントでログインし、アプリケーションを 1 度実行してからコンピュータの設定前にログアウトして、保護状態で再起動することが推奨されます。

Deep Freeze 更新のチェック

インストールされている Deep Freeze が最新のバージョンかどうかをチェックするには、[Help (ヘルプ)] > [Check For Updates (更新の確認)] を選択します。



初期設定のブラウザが起動し、インストールされたバージョンが最新かどうか、最新バージョンがダウンロード可能かどうか表示されます。リンクに従ってください。

注意: [checkForUpdates] タスクを使用して、ARD コンソールを介してインストールされているバージョンが最新かどうかをチェックします。

付録 I: Deep Freeze Assistant およびインストーラのカスタマイズ

[Deep Freeze Assistant] を使用してカスタムの Deep Freeze インストール パッケージを作成し、複数のワークステーション環境向けにグローバル設定を作成できます。

また、使用しているシステムの Apple Remote Desktop (ARD) コンソールに、Deep Freeze 専用の「保存したタスク」を直接インストールすることもできます。カスタマイズされた Deep Freeze インストールパッケージには、ARD タスクは含まれません。タスクのインストールを正常に終了するには、ARD が起動していない必要があります。

[Deep Freeze Assistant] を起動するには、以下のステップに従います。

1. プログラムのアイコンをダブルクリックして [Deep Freeze Assistant] を開きます。図のような [Introduction (紹介)] 画面が表示されます。



2. [Continue (次へ)] をクリックします。[Deep Freeze Tasks (Deep Freeze タスク)] 画面が表示されます。



3. [Yes, install tasks (はい。タスクをインストールします)] チェックボックスを選択して Deep Freeze 固有のタスクを使用中のコンピュータの ARD にインストールします。ARD または ARD エージェントが実行中の場合、ダイアログが表示され、ARD をただちに終了するか後で終了するか、2 つのオプションから選択できます。



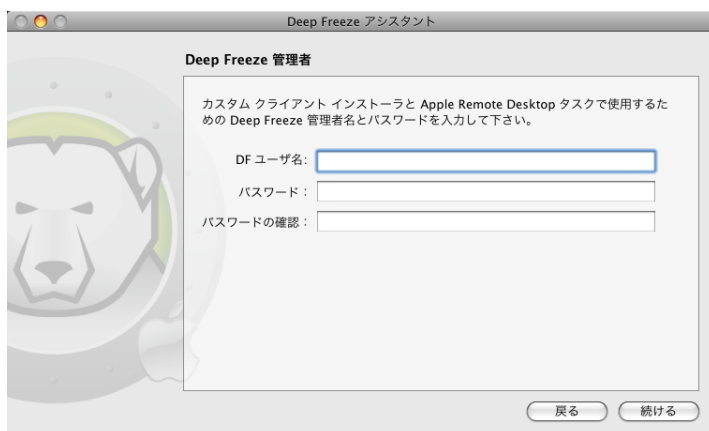
以前の Deep Freeze ARD タスクは、実行時に問題が発生する可能性があるため、[Deep Freeze Assistant] で新規タスクをインストールする前に削除する必要があります。

希望のアクションを選択して [Continue (次へ)] をクリックします。[Deep Freeze Custom Installer (Deep Freeze カスタムインストーラ)] 画面が表示されます。



4. ライセンスキーを入力します。ライセンスキーを入力しないと、Deep Freeze のインストールから 30 日後に有効期限が切れます。
5. クライアント用カスタムインストーラを作成するには、[Yes, Create a custom installer (はい。カスタムインストーラを作成します)] を選択し、[Continue (次へ)] をクリックします。

[Deep Freeze Administrator (Deep Freeze アドミニストレータ)] 画面が表示されます。



6. カスタムインストーラで作成し、Deep Freeze の Apple Remote Desktop タスクで使用する Deep Freeze アドミニストレータの名前およびパスワードを入力します。パスワードを再入力して確認し、[Continue (次へ)] をクリックします。

注意: Apple Remote Desktop (ARD) を使用して Deep Freeze Mac の配備を管理する場合、パスワードに英数字のみを使用していることを確認してください。英数字以外の文字が使用されている場合、リモートタスクの実行に失敗します。

7. 他のユーザーを作成するか、操作を続行するかを確認するダイアログが表示されます。最大 4 人のユーザー作成が終了すると、[Boot Control & Miscellaneous (ブートコントロールおよびその他)] 画面が表示されます。



8. [Control & Miscellaneous (ブートコントロールおよびその他)] 画面には、インストーラが適用されるコンピュータ上で Deep Freeze のステータスを変更するために使用するボタンがあります。
- コンピュータを保護状態にするには、[Boot Frozen (保護モードで起動)] を選択します。
 - 指定した回数だけ非保護状態で再起動するには、[Boot Thawed on Next (非保護モードで起動 次_回のみ)] を選択し、再起動の回数を指定します (1 から 99 の入力が無効です)。
 - コンピュータを非保護状態にするには、[Boot Thawed (非保護モードで起動)] を選択します。
 - コンピュータで最大 4 つの既知のパーティションを非保護に指定するには、[Thaw these Partitions (これらのパーティションを非保護にする)] の下にあるフィールドにパーティション名を入力します。コンピュータに存在する名前付きのパーティションのみがインストール時に非保護となります。

また、次のコンピュータ設定オプションも使用できます。

- 保護アイコンを非表示にするには、[Hide Frozen Icon in menu bar (メニューバーの保護アイコン非表示)] チェックボックスをオンにします。
- 非保護アイコンを非表示にするには、[Hide Thawed Icon in menu bar (メニューバーの非保護アイコン非表示)] チェックボックスをオンにします。
- Deep Freeze アイコンを表示せずに保護パーティションのみを表示させるには、[Don't badge Frozen partitions (保護パーティションは除外する)] チェックボックスを選択します。
- ユーザーのログアウト時に再起動するようにコンピュータを設定するには、[Restart instead of Log Out (ログアウトではなく再起動)] チェックボックスを選択します。
- Apple Remote Desktopでリモート操作を使用してワークステーション ステータス (Frozen または Thawed) を表示するために、Apple Remote Desktopのチェックボックスで [ステータスを表示] を選択し、希望する [情報フィールド] を選択します。

ワークステーションは、Frozen または Thawed をブート時に選択された [情報フィールド] に書き込みます。

Apple Remote Desktopでこのステータス情報を表示するためには、[編集] > [表示オプション] を選択し、適切なコンピュータ情報フィールド (1-4) を選択します。ワークステーションが現在のステータスを表示し、ワークステーション グループは、このステータス コラムでソートすることができます。



非保護スペースをインストールパッケージで指定する場合、ブートコントロールが [Boot Thawed (非保護モードで起動)] に設定されていることを確認してください。この設定により非保護スペースが作成されます。

[Continue (次へ)] をクリックします。[ThawSpace (非保護スペース)] 画面が表示されます。



9. [ThawSpace (非保護スペース)] 画面で、仮想非保護パーティションを作成します。この際、ドキュメントと変更は継続的に保持されます。管理者は各ローカル ユーザーにユーザー非保護スペース、またはすべてのユーザーが共有可能なグローバル非保護スペースを作成できます。

非保護スペースを作成するには、コンピュータは非保護状態である必要があります。インストールパッケージで、ブートコントロール設定を [Boot Thawed (非保護モードで起動)] に設定してください。

グローバル非保護スペースを作成するには、[Create Global ThawSpace of (次のサイズのグローバル非保護スペースを作成)] チェックボックスをクリックして、希望のサイズを入力します。

各ユーザーに非保護スペースを作成するには、[Create a ThawSpace for each user of (各ユーザーに次のサイズの非保護スペースを作成)] チェックボックスをクリックして、希望のサイズを入力します。

非保護スペースはデスクトップにリムーバブル メディアとして表示されます。ユーザー非保護スペースにユーザーが選択したアイコンを付けるには、[Tag User ThawSpace with icon (アイコン付きタグ ユーザー非保護スペース)] チェックボックスを選択します。

[Continue (次へ)] をクリックします。[User Mapping (ユーザー マッピング)] 画面が表示されます。



10. [User Mapping (ユーザー マッピング)] タブを使用して、ユーザー プロフィールの種類を特定の非保護スペースにマッピングします。

ドロップダウン メニューを使用して、Standard (標準) または Admin (管理)、Mobile (モバイル) のユーザー プロフィールをパーティションまたはユーザー非保護スペースのいずれかにマッピングします。

マッピングはユーザーごとに実行されます。一部のユーザーのマッピングに失敗する場合があります。マッピングの失敗には次のような原因が考えられます。

マッピング先がすでに存在する。

マッピング先に十分なスペースがない。

ARD を使用してマッピングを実行しようとしても、その時点でマッピング先が存在するもののマウントされていないために失敗する場合があります。マッピング先にユーザー 1 人分のスペースがあってもすべてのユーザー分のスペースがない場合もあります。この場合、一部のユーザーはマッピング先にコピーされますがコピーされないユーザーもあります。

[Continue (次へ)] をクリックします。[Maintenance (メンテナンス)] 画面が表示されます。



11. それぞれ異なる名前を持つ複数のメンテナンス スケジュールを作成するには、[Add (追加)] をクリックします。[Schedule 1 (スケジュール 1)] タグが、タブの左側のリストに表示されます。スケジュールを追加すると、必ずこの初期設定タグが付けられますが、名前は変更可能です。スケジュールの名前を変更するには、名前を変更するタグをダブルクリックしてフィールドを編集します。注意: 最大 10 個の名前の異なるメンテナンス スケジュールを作成できます。スケジュールを設定するには、設定対象のスケジュールの名前をクリックします。次からオプションを選択し、メンテナンス スケジュールを設定します。

- メンテナンス スケジュールをオンにするには、[Activate Maintenance Schedule (メンテナンス スケジュールを有効にする)] をクリックします。
- [Day (曜日)] ドロップダウン メニューから、スケジュールが発生する曜日を選択します。
- [From (開始時間)] および [To (終了時間)] フィールドに、スケジュールが発生する時間帯を入力します。
- [Once Only (一度限り)] チェックボックスを選択して、一度限りのスケジュールを作成します。このチェックボックスを選択しなければ、スケジュールは毎週繰り返されます。
- [Install Apple Software Updates (Apple Software Update をインストール)] を選択して、メンテナンス スケジュールの間に Apple Software Update を自動的に実行するようにします。

- [Lock Out User (ユーザーをロックアウト)] を選択して、スケジュールされた更新中はユーザーがコンピュータにアクセスできないようにします。
- [Warn User At (ユーザーに警告)] を選択すると、コンピュータが指定された時間に使用できなくなることを警告するメッセージが表示されます。指定のフィールドに警告時間を入力します。
- [Message for User (ユーザーへのメッセージ)] フィールドに、メンテナンス スケジュールが指定された時間に発生する旨を説明する、ユーザーへのカスタム メッセージを入力します。変数として「%d」をメッセージに挿入すると、メンテナンス期間開始までの分数が自動的に表示されます。(「%d」は現在の時間とスケジュールされたメンテナンスの開始時間との時間差に対応する変数です。)
- [Shutdown After Maintenance (メンテナンス後にシャットダウン)] を選択すると、メンテナンス期間終了後にコンピュータがシャットダウンされます。

注意: メンテナンス期間は最短で 10 分となっています。

[Continue (次へ)] をクリックします。[Choose Deep Freeze Installer (Deep Freeze インストーラの選択)] 画面が表示されます。



11. [Choose (選択)] をクリックして、Deep Freeze フォルダにある Deep Freeze インストーラ パッケージ (拡張子は pkg) の場所に移動します。あるいは、パッケージ ファイルを [Choose (選択)] ダイアログ画面にドラッグ&ドロップします。

[Continue (次へ)] をクリックします。[Where to Save (保存場所の指定)] 画面が表示されます。

12. [Choose (選択)] をクリックします。一般的な [Save (保存)] ダイアログが表示されます。クライアント用カスタムインストーラを保存する場所を指定して選択します。あるいは、希望する保存場所を [Choose (選択)] ダイアログ画面にドラッグ&ドロップします。

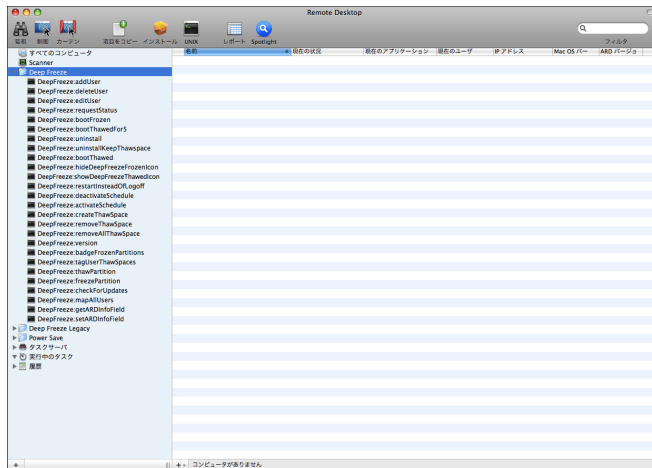
[Continue (次へ)] をクリックします。クライアント用カスタムインストーラが正常に作成され、Deep Freeze タスクが ARD にインストールされたことを示す最終画面が表示されます。



[Quit (終了)] をクリックして [Deep Freeze Assistant] を終了します。

付録 II: Apple Remote Desktop v.3.0 統合

[Deep Freeze Assistant] は、Apple Remote Desktop で使用するタスクをインストールできます。これらのタスクを供給、または起動ポイントとして使用することで、ARD で Deep Freeze を制御できます。ARD 2.2 では、Deep Freeze 固有のタスクは名前付きのフォルダではなく、「保存したタスク」フォルダに保存されます。



各タスクの関数は、下記の関数と同じです。[requestStatus] 以外の各タスクは、[Deep Freeze Controller] で設定できます。本リリースで 次の新しいコマンドと引数が利用可能です:

タスク	Argument	関数
activateSchedule	Schedule name	ターゲット コンピュータでスケジュールされた更新を有効にします。スケジュール名がパラメータとしてコマンドに含まれている必要があります。
addSchedule	schedule_name [-a "on" "off"] [-d "monday" "tuesday" "wednesday" "thursday" "friday" "saturday" "sunday"] [-b "24-hr-time"] [-e minutes] [-o "on" "off"] [-i "on" "off"] [-l "on" "off"] [-w "off" 5 10 15] [-m "message string"] [-s "on" "off"]	スケジュールを追加します。 24-hr-time は HH:MM 形式となっています。
addUser	New user name	ユーザをリストに追加します。
badgeFrozenPartitions	on off	FrozenパーティションのDeep Freezeアイコンを表示/非表示にします。
bootFrozen		ターゲットコンピュータをFrozen状態で再起動します。
bootThawed		ターゲットコンピュータをThawed状態で再起動します。

bootThawedFor	Times	次の x 回の再起動時に Thawed状態 で再起動するように、ターゲットコン ピュータを設定します。回数は Times 引数でカスタマイズできます。
checkForUpdates		ターゲット コンピュータの現在の Deep Freeze のバージョンが最新か どうかチェックします。
createThawSpace		再起動時にデータを継続的に保存で きるFrozenボリュームに仮想パーテ ィションを作成します*。
deactivateSchedule	Schedule name	ターゲット コンピュータでスケジュー ルされた更新を無効化します。スケジ ュール名がパラメータとしてコマンド に含まれている必要があります。
deleteUser	User name	リストからユーザを削除します。
editSchedule	<code>schedule_name [--newname "new_schedule_name"] [--activate "on" "off"] [--day "monday" "tu esday" "wednesday" "t hursday" "friday" "s aturday" "sunday"] [--begin "24-hr-time"] [--end minutes] [--onceonly "on" "off"] [--installappleupdate "on" "off"] [--lockuser "on" "off"] [--warnuser " o f f " " 2 4 - h r - time"] [--message "message string"] [- - s h u t d o w n a f t e r "on" "off"]</code>	スケジュールを編集します。
editUser	User name	管理者がユーザの名前およびパスワ ードを編集することを許可します。
freezePartition	Partition name	Frozen状態にするターゲット コンピ ュータ上のパーティションを指定しま す。
getARDInfoField		ワークステーション ステータスを表 示するApple Remote Desktopの情 報フィールドを指定します。
getLicenseInfo		ライセンス情報が表示されます。
help		利用可能なすべてのオプションとパラ メータを DeepFreeze コマンドライン ツ ールに表示します。
mapAllUsers	(Argument 1) admin standard mobile (Argument 2) Partition name userthawspace	指定されたThawSpaceにすべてのユ ーザをマップします。ユーザ タイプ名 とThawSpaceの場所がパラメータに 含まれる必要があります。例: admin Panther は すべての管理ユーザを Pantherというパーティションにマッ プします.**
rebootInsteadOfLogoff	on off	引数にon を指定すると、ログオフの 代わりにターゲット コンピュータを再 起動します。引数に off を指定すると、 この機能は無効になります。

removeThawSpace	ThawSpace name global	単一のThawSpaceを削除します。***
removeAllThawSpace		すべてのThawSpaceを削除します。
resizeThawSpace	"global" userthawspace_name nnnn	ThawSpaceのサイズを変更します。 global はグローバル ThawSpace を表します。 nnnn は新しいサイズ (MB) を表します。
removeSchedule	schedule_name	スケジュールを削除します。
removeAllSchedules		すべてのスケジュールを削除します。
setARDInfoField	ARD Info Field	このパラメータは ワークステーションステータスを表示するために使用するRemote Desktop の情報フィールドを指定します。パラメータ値は 0 から 4 までです。0 は 情報フィールドを指定しません。
setLicenseKey	license_key	ライセンスキーを設定します。
showFrozenIcon	on off	メニューバーで Deep Freeze Frozen アイコンを表示/非表示にするように、ターゲット コンピュータを設定します。
showThawedIcon	on off	メニューバーで Deep Freeze Thawed アイコンを表示/非表示にするように、ターゲット コンピュータを設定します。
status	[-x]	様々なDeep Freeze設定のステータスを表示させるように、ターゲットコンピュータに要求します。xは 結果をXML形式に指定します。
tagUserThawSpaces	on off	User ThawSpaceにユーザ アイコンを付けます (設定されている場合)。または、User ThawSpaceからタグを削除します。このオプションは、ThawSpaceが作成される前に使用する必要があります。ユーザ アイコン タグは、作成後に追加できません。
thawPartition	Partition name	Thawed状態にするターゲット コンピュータ上のパーティションを指定します。
uninstall		ターゲットコンピュータから Deep Freeze をアンインストールします。アンインストール タスクを実行する前に、ターゲット コンピュータをThawed状態で再起動しておく必要があります。
uninstall	[keepThawSpace]	ターゲット コンピュータから Deep Freeze をアンインストールしますが、ThawSpaceは保持します。
version	[-x]	Deep Freeze のバージョン番号を表示します。xは 結果をXML形式に指定します。

```

Mac mini (192.168.2.76)
****STATUS FOR: mac-mini.local****
BOOT FROZEN
HIDE FROZEN ICON IN MENUBAR: FALSE
HIDE THAWED ICON IN MENUBAR: FALSE
RESTART INSTEAD OF LOGOFF: FALSE
DON'T BADGE FROZEN DRIVES: FALSE

DRIVE STATUS
Drive:Tiger Frozen:TRUE
Drive:Panther Frozen:TRUE
Drive:Leopard Frozen:TRUE

USER THAWSPACE INFORMATION

GLOBAL THAWSPACE INFORMATION
No global ThawSpace

TAG USER THAWSPACE WITH ICON: FALSE

MAINTENANCE INFORMATION
SCHEDULE 0: ENABLED (Holidays)
SCHEDULE IS SET FOR Friday FROM 12:00 TO 13:00
IN MAINTENANCE: FALSE
ONCE ONLY: FALSE
INSTALL UPDATES: TRUE
TAKE OVER MACHINE: FALSE
SHUTDOWN AFTER: FALSE
WARN USER: FALSE

USER MAPPING

User "js" Home Directory: /Users/js
User "susan" Home Directory: /Volumes/Panther/Users/susan
User "paul" Home Directory: /Users/paul
User "one" Home Directory: /Users/one
User "two" Home Directory: /Users/two
User "three" Home Directory: /Users/three
User "four" Home Directory: /Users/four
User "five" Home Directory: /Users/five
User "six" Home Directory: /Users/six
User "seven" Home Directory: /Users/seven
User "eight" Home Directory: /Users/eight
User "nine" Home Directory: /Users/nine
User "ten" Home Directory: /Users/ten
User "eleven" Home Directory: /Users/eleven
User "twelve" Home Directory: /Users/twelve
User "thirteen" Home Directory: /Users/thirteen
symbolic link to '/Volumes/Panther/thirteen/Documents'
symbolic link to '/Volumes/Panther/thirteen/Library'
symbolic link to '/Volumes/Panther/thirteen/Desktop'
symbolic link to '/Volumes/Panther/thirteen/Pictures'
symbolic link to '/Volumes/Panther/thirteen/Movies'
symbolic link to '/Volumes/Panther/thirteen/Music'

```

* = [Deep Freeze Assistant] により作成されたカスタムインストーラの設定を使用する Deep Freeze の最初のインストール時にものみ発生します。

** = mapAllUsers コマンドには、「admin」や「standard」、「mobile」、「userthawspace」のパラメータと、「10.4.9」または「Panther」などのパーティション名が含まれます。

*** = 単一の非保護スペースの「名前」を指定する必要があります。グローバル非保護スペースであれば「global」と指定します。

ターゲットコンピュータの [Task (タスク)] リストへの追加

タスクを実行するには、タスク実行のターゲットとなるコンピュータが必要です。タスク実行のターゲットとなるコンピュータを 1 台または複数追加するには、以下のステップを実行します。

1. 左側のカラムで、指定したコンピュータをターゲットとするタスクをダブルクリックします。
[Task Edit (タスクの編集)] ウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部のダイアログには、タスクに割り当てられた指定コンピュータがリストされています。コンピュータをリストに追加する前に、そのコンピュータは [No Computers (コンピュータなし)] を読み取ります。
2. 希望するワークステーションまたはワークステーション グループを、[All Computers (すべてのコンピュータ)] リストにあるコンピュータからダイアログにドラッグ&ドロップします。特定のタスクに割り当てられたコンピュータの数がウィンドウ下部に表示されます。
3. [Save (保存)] をクリックします。

タスクの使用および編集

タスクを使用するには、ユーザー名やパスワードなど、タスク固有の情報を追加して、編集しておく必要があります。

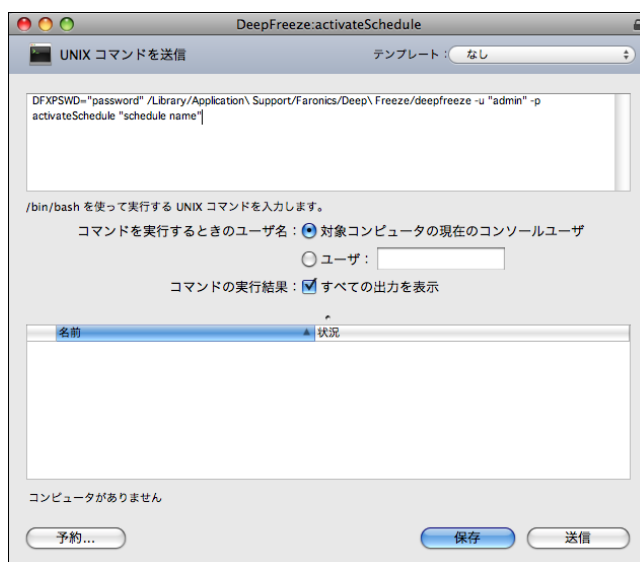
タスクを実行するには、次の条件および設定を ARD に適用する必要があります。

- タスクに対するターゲット コンピュータを必ず指定する
- ターゲット コンピュータに Deep Freeze を必ずインストールしておく
- コマンドを実行するために、ターゲット コンピュータのユーザーを必ず指定する

次の図は、Status 関数の出力例を示しています。

注意: ターゲットのステータスを表示するには、Apple Remote Desktop の [Edit Task (タスクの編集)] ウィンドウで [Display all output (すべての出力を表示)] チェックボックスを選択しておく必要があります。

下の図は、ターゲットコンピュータの現在のコンソールユーザーで実行するよう設定された、[activateSchedule] タスクです。



各タスクで、ターゲット コンピュータに対する Deep Freeze ユーザー名およびパスワードを使用できるように編集する必要があります。上の例では、Deep Freeze ユーザー名は admin、Deep Freeze パスワードは admin です。[Deep Freeze Assistant] の設定によっては、タスクにはすでに名前とパスワードが設定されています。



次のタスクはターゲット コンピュータのルートとして実行する必要があります。ルートとして実行しなければ、許可が不十分となり、タスクが失敗します。

- createThawSpace
- mapAllUsers
- removeThawSpace
- removeAllThawSpace
- status
- uninstall keepThawSpace
- uninstall

コマンドライン スクリプトの例

Deep Freeze Mac タスクにより、管理者は Deep Freeze Mac ワークステーションをより柔軟に管理できます。これらのタスクは、複数の異なる他社製エンタープライズ管理ツールおよび/または中央管理ソリューションと組み合わせてお使いいただけます。これには、SSH 経由でリモート ワークステーションに接続する際のターミナルでのコマンド実行が含まれます。

bootFrozen コマンドを使用したスクリプトの例を次に示します。

```
/Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/CLI administrator
password bootFrozen
```

この例では、administrator は有効な Deep Freeze Mac のユーザー名で、password はそのユーザーのパスワードです。このスクリプト例を修正すれば、[タスク表](#)に記載されたすべてのタスクを実行できます。

Deep Freeze Legacyフォルダ内のコマンドは

後方互換性のために維持されています。しかし、これらのコマンドは将来のバージョンで完全に削除されます。次のコマンドは現在のリリースでは推奨されません。

タスク	関数
activateSchedule	ターゲット コンピュータでスケジュールされた更新を有効にする。スケジュールの名前がパラメータとしてコマンドに含まれている必要あり。
addUser	ユーザーをリストに追加する。
badgeFrozenPartitions	保護パーティションに Deep Freeze アイコンを付ける。
bootFrozen	ターゲット コンピュータを保護モードで再起動する。
bootThawed	ターゲット コンピュータを非保護モードで再起動する。
bootThawedFor 5	ターゲット コンピュータを次の 5 回は非保護モードで再起動する。回数は [Task Edit (タスクの編集)] ウィンドウで編集可能。
checkForUpdates	ターゲット コンピュータにある現在の Deep Freeze のバージョンが最新かどうかチェックする。
createThawSpace	再起動時にデータを継続的に保存可能な仮想パーティションを保護ボリュームに作成する。
deactivateSchedule	ターゲット コンピュータでスケジュールされた更新を無効にする。スケジュールの名前がパラメータとしてコマンドに含まれている必要あり。
deleteUser	リストからユーザーを削除する。
dontBadgeFrozenPartitions	保護パーティションで Deep Freeze アイコンを非表示にする (設定されている場合)。
dontRebootInsteadOfLogoff	ターゲット コンピュータを再起動する。

dontTagUserThawSpaces	ユーザー アイコンがタグとしてユーザー非保護スペースに表示されないようにする (設定されている場合)。非保護スペース作成前に使用する必要あり。ユーザー アイコンのタグは、作成後は削除不可能。
editUser	管理者はユーザーの名前およびパスワードを編集可能。
freezePartition	保護するパーティションをターゲット コンピュータで指定する。
hideFrozenIcon	ターゲット コンピュータのメニューバーで Deep Freeze 保護アイコンを非表示に設定する。
hideThawedIcon	ターゲット コンピュータのメニューバーで Deep Freeze 非保護アイコンを非表示に設定する。
mapAllUsers	すべてのユーザーを指定した非保護スペースにマッピングする。ユーザー タイプ名および非保護スペースの場所がパラメータとして含まれている必要あり。例: 「admin」「Panther」はすべての管理ユーザーを Panther という名前のパーティションにマッピング。**
rebootInsteadOfLogoff	ターゲット コンピュータをログオフではなく再起動する。
removeThawSpace	単一の非保護スペースを削除する。***
removeAllThawSpace	すべての非保護スペースを削除する。
showFrozenIcon	ターゲット コンピュータのメニューバーで Deep Freeze 保護アイコンを表示するよう設定する。
showThawedIcon	ターゲット コンピュータのメニューバーで Deep Freeze 非保護アイコンを表示するよう設定する。
status	ターゲット コンピュータにさまざまな Deep Freeze 設定のステータスを表示するよう要求する。
tagUserThawSpaces	ユーザー非保護スペースにユーザー アイコンを付ける (設定されている場合)。非保護スペース作成前に使用する必要あり。ユーザー アイコンのタグは、作成後は追加不可能。
thawPartition	非保護となるパーティションをターゲット コンピュータで指定する。
uninstall	ターゲット コンピュータから Deep Freeze をアンインストールする。[uninstall] タスクを実行する前に、ターゲット コンピュータを非保護モードで再起動しておく必要あり。
uninstall keepThawSpace	ターゲット コンピュータから Deep Freeze をアンインストールするが、非保護スペースは保持する。
version	Deep Freeze のバージョン番号を表示する。